

SGL046-P03

会場:コンベンションホール

時間: 5月25日17:15-18:45

阿寺断層系における深層ボーリング調査の概要と岩石物性試験結果

Deep borehole drilling surveys in the Atera fault system, Central Japan

山田 隆二^{1*}, 松田 達生¹, 小村 健太郎¹, 池田 隆司²

Ryuji Yamada^{1*}, Tatsuo Matsuda¹, Kentaro Omura¹, Ryuji Ikeda²

¹防災科学技術研究所, ²北海道大学大学院理学研究院

¹NIED, ²Hokkaido University

防災科学技術研究所は1997-2000年度に岐阜県中津川市・下呂市地域に分布する阿寺断層系の阿寺断層および萩原断層を対象に活断層ドリリング調査を実施した。掘削したのは、同断層系に属する萩原断層の1地点、阿寺断層の5地点で、掘削深度は約400-630 mである。各掘削孔の様々な深度においてコアサンプルを採取し、それをを用いて一軸圧縮・圧裂引張試験、三軸圧縮試験、透水係数、超音波伝搬速度測定、比重・吸水率測定、熱伝導率測定、全岩化学分析、X線回析分析等の室内岩石物性試験を行った。本稿ではその概要を報告する。

キーワード:阿寺断層,萩原断層,ドリリング,岩石試験

Keywords: Atera fault, Hagiwara fault, borehole drilling, rock tests